

中部労災病院を受診された、及び治療中の患者様へ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	COVID-19 流行期前後における ANCA 関連血管炎の臨床像に関するコホート研究
当院の研究責任者 (所属)	滝澤 直歩 (リウマチ膠原病科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	京都府立医科大学 免疫内科学 病院教授 川人 豊 山梨大学医学部附属病院リウマチ・膠原病内科 病院准教授 中込 大樹 順天堂大学医学部附属順天堂医院膠原病・リウマチ内科 教授 田村 直人 京都第一赤十字病院リウマチ内科 部長 福田 互
本研究の目的	膠原病の一つである ANCA 関連血管炎には顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症という 3 つの疾患があります。発症初期にしっかりと治療（ステロイドと免疫抑制薬）を行うことで良好な改善が得られますが、それとともに免疫力が低下するため感染症などの合併症が問題となります。COVID-19 が流行してる今、治療による免疫力低下により感染のリスクが上昇するのではないかと懸念されています。仮に関係があるのであればその流行にあわせて治療を弱めるなどの対応が必要ですが、その流行状況は国によって異なり、また現在のところこの 3 つの疾患への治療と COVID-19 発症の関係は明らかになっていません。幸いにもわが国では米国や欧州と比較してその流行は抑えられています。それらの国では実際に治療を受けられた方の感染も報告されています。米国（代表：ジョンズホプキンスクリニック）や欧州（代表：オーストリア・インスブルック医科大学）の研究機関と共同して、各国ごとにこの疾患の治療状況、予後を調査し比較することで今の時代に最適な治療選択を探ることが本研究の主たる目的になります。
調査データ 該当期間	2017 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料など)	●対象となる患者さま 2017 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日の期間に AAV（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症）の新規発症あるいは再燃と診断した患者さま（20 歳以上） ●利用する情報 診療録（カルテ）から得られる病歴、血液検査やレントゲン写真などの検査所見
試料/情報の 他の研究機関への提供 およびその方法	得られたデータは国内および海外の共同研究機関へ送付されます。氏名、住所などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、匿名化されたデータのみを提供させていただきます。

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>患者さんの情報を研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。集計されたデータは統計解析という手法を用いて処理します。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者の責任の下、厳重な管理を行い、情報が漏洩しないよう細心の注意を払います。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>なし</p>
<p>お問い合わせ</p>	<p>独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院 電話：052-652-5511（代） 担当者：滝澤 直歩（リウマチ膠原病科）</p>
<p>備考</p>	